

改訂：2026 年 2 月 5 日

# SMA 機能のアーキテクチャ

## SMA コンポーネントのアーキテクチャの仕組み

SMA アーキテクチャは、さまざまな運用レイヤを監視、管理し、アラートを発するための集中型システムを提供します。

### process\_summary

このプロセスに参与する主要なコンポーネントは次のとおりです。

- **SMA サーバー**：データの処理、アクションの管理、通知の生成を担当する中央コンポーネント。
- **モニタークライアント**：モニタリング データを収集して SMA サーバーに送信するコンポーネント。
- **アクションクライアント**：SMA サーバーから特定のアクションのコマンドを開始または受信するコンポーネント。
- **libsma**：クライアントと SMA サーバー間の通信を支援するライブラリ。
- **SUP（監視レイヤ）**：SMA サーバーとその直接のクライアントが存在する上位レベルの運用レイヤ。
- **LC（ローカル コンポーネント レイヤ）**：ローカルクライアントと SMA エージェントが中央の SMA サーバーと通信するための下位の運用レイヤ。
- **LC SMA**：中央の SMA サーバーと通信する LC レイヤ内のローカル SMA エージェントまたはコンポーネント。
- **アラート、Syslog、トラップ**：通知とログを出力するために SMA サーバーによって使用されるさまざまなメカニズム。

### result

SMA アーキテクチャにより、分散システムのコンポーネントを包括的に監視、制御することができ、効率的な運用とイベントのタイムリーな通知が実現されます。

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。